

作成日：R8年3月16日

令和7年度第11回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

日付	令和8年3月13日(金)
時間	9:20~10:50
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室
参加機関等	香川中部支援学校、高松支援学校、高松市障がい福祉課、直島町住民福祉課、障害者就業・生活支援センターオリーブ、地域活動支援センタークリマ、ヒトコ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、一般社団法人garyu、相談支援センターりゅうん、自立ケアシステム香川、NPO 法人アイルコート、社会福祉法人ナザレの村、一般社団法人ええる福祉会、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 オブザーバー参加)障害福祉サービス事業所せんり、CareHome.るびなす 順不同 計26名

議題1:香川県特別支援学校長会からの要望について

議事	資料① 3 ページ参照。 【中部支援学校より説明】 ・東部支援学校でのモデル事業は、国が示しているひな形通りのやり方で、うまくいった。 ・この事業については、とても良いものだと思っている 知的の児童は 20~30%一般就労する 中部は、高松が主だが、小豆、綾川、みどり園の児童もいる ほとんどの学校に県内広い地域から通学している ・事業の取扱いが、行政によって差ができてきていることは、保護者から不満も出てくる ・東部は、今後、日数を短縮していく予定 アセスメントは、校内、校外両方で行うか、校内だけで行うか検討中 ・事業所が行政とも連携しながら、県内どこに住んでいても、全ての児童が同様の手続きで、同様の負担金で、公平に事業を利用できるようにして頂きたい 協議会の中でしっかり検討頂きたい
----	---

	<p>【その他の委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 型の質の担保に不安を感じている その上に、就労選択支援事業も重なって、より複雑化している ・ 児童生徒に混乱を招くようなことはできるだけ避けて欲しい ・ サービス自体はとても良いものであると考えるので、利用料については、公平性を保って欲しい
--	--

議題2： 部会活動報告	
議事	<p>資料② 5~8 ページ参照</p> <p>【就労支援部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、主に研修、GW 等を実施した。来年度については、検討中 <p>【精神保健福祉部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への訪問を年間 4 回実施した ・高齢者支援機関との交流会も実施 ・ピアサポーターの派遣要項も改変予定 <p>【相談支援部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 月は就労選択支援事業の利用状況や、今年度の振り返り等について GW を行う予定 ・相談支援専門員毎年微増 来年度以降も支援の質と量の確認をしながら進めていく予定 <p>【知的障害者支援部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月に当事者参加で部会実施した。来年度も継続して参加いただく予定 ・強度行動障害 SV 派遣事業について 来年度以降は三木町、直島町も対象としていく <p>【こども部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間 3 回部会 児発・放デイの連絡会 2 回実施 ・来年度の部会の体制見直しについて協議し、圏域内の全児童発達支援センターへの参画依頼する ・高松市の 5 健の WG とも連動していく <p>【医療的ケア部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度からは部会は無くなり、医ケアコーディネーターの連絡会という形になる その場で地域課題を協議する フォローアップ研修も継続して行う ・県の医ケア部会より周知・・・医ケア児一時預かり事業が開始しているが、利用について混乱があり、今後フローチャート等を作成する必要あり 基幹センターに相談が来た場合、速やかに計画相談につないでほしい旨周知して

	<p>欲しい。</p> <p>【居宅サービス事業所部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月に最終研修実施「カスタマーハラスメントについて」好評であった ・来年度の部会の体制については、サブリーダーを2人とし、役割分担を明確にする また、部会員の増員を図る ・来年度も研修を3回予定 <p>【当事者家族会部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度で部会は閉じる 来年度からは連絡会として年間2回実施する ・取りまとめ役については、検討中 <p>【B型事業所部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座談会、見学会、研修会を行った ・来年度は部会長が交代する 4月の報酬単価の切り下げについて、管理者向けの座談会開催予定 ・研修会等を企画しても、参加しない事業所に対してどうアプローチしていくかを検討している <p>【権利擁護部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援、差別解消・合理的配慮、虐待防止の研修を実施 ・一般市民の参加もあった ・今後は権利擁護に関する協議を行っていく予定 <p>【グループホーム部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会を2回、見学会を1回実施 ・来年度は部会長が交代する また、部会員の増員も検討中 ・日中支援型GH評価委員会との情報共有を行いたい <p>【日中支援型GH評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月に実施した事業所の評価報告について説明あり
--	---

議題3:地域課題について	
議事	<p>資料③ 9~10 ページ参照</p> <p>提案)先月に議論した「性に関する取り組み」と、7月にGWした議題「教育と福祉の連携」、「合理的配慮の啓発」、さらにR8年度6月に収集する地域課題と合わせて、取り組みの方向性を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応等についての課題も併せて協議する(身体障害部会から抽出された課題)

議題 4: R8~9年度目標について

議事	<p>R6,7年の目標について(振返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① スムーズに進んでいったのではないか ② 地域課題や今取り組んでいる目標について、いまひとつ、明確にできなかった・・・来年度は、重要なことを、運営会議のレジメに忘れないように毎月記載する ③ 成年後見制度についてご意見をいただいた <p><u>2年間目標</u> 個別支援から地域課題の集約を行い、課題解決にむけて協議する。</p> <p><u>協議会全体として取り組むこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ①個別支援から地域課題の集約を行い、課題解決にむけて協議する。 ②障がい児の支援について、障がい福祉以外の分野も含む多機関との連携を強化する。 ③障害児者が主体となった暮らしの実現に向けて、協議会として意思決定支援を強化する <p>→様々な研修等に、部会を通して参加を促進していくことを意識する</p> <p>以上の内容で、概ね了承される</p>
----	---

議題 5: 周知事項	
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・アルプスかがわ名義後援依頼について(資料④)11~15 ページ参照 →承認する ・医ケアスーパーバイザーについて →これまで周知パンフレット等が無かったので、作成したので、配布する ・高松市からの依頼について(資料⑤)16 ページ参照 →(1)、(2)ともに、ヒアリングを5月に実施する。

次回は、令和8年4月10日(金)9:20~10:50

かがわ総合リハビリテーション福祉センター第1研修室